

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ハマダコンフェクト加古川第2工場増	階数	地上4F
建設地	兵庫県加古川市尾上町池田字美サ	構造	RC造
用途地域	工業地域、法22条地域	平均居住人員	363 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2025年6月9日
敷地面積	49,198 m ²	作成者	古谷
建築面積	22,277 m ²	確認日	
延床面積	44,669 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.6

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	十分な設備容量のある機器、ゆとりのある執務スペースを設け、従業員が働きやすい環境を設けている。また、歩道側に植栽を植え、建物高さや壁面位置、色彩をまちなみと調和させ、機能的で安心・安全な建物になるように努めている。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外壁にサンドイッチパネル、屋根には折板屋根(インシュレーション工法)を使用し、断熱性を高め、快適な空間になるように努めている。	広い執務スペースや休憩室を設け、従業員の働きやすい空間づくりに努めている。	建物の高さや壁面位置、色彩を周辺のまちなみや風景と調和させている。また、歩道側には植栽を植えることで環境の配慮にも努めている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
効果的活用可能な省エネ型の設備機器を導入し、エネルギー消費量のデータ化を行っている。	取り外しの容易なユニット部材や節水型の便器を採用し、資源や環境の配慮に努めている。	周辺道路の交通を混雑させないために、建物の利用人数から適切な数の駐車場、駐輪場を設けている。また、様々なゴミが出るため、敷地内に多分別可能なごみ置き場を設け、敷地外環境への配慮に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される